

研究タイトル:

英語教授法と第二言語習得理論



氏名: 鈴木 章子 / SUZUKI Noriko E-mail: suzuki@yonago-k.ac.jp

職名: 講師 学位: 修士(教育学)

所属学会・協会: 全国高等専門学校英語教育学会、全国英語教育学会

 キーワード: Content and Language Integrated Learning (CLIL)、ライティング、学習者の個人要因
英語資格試験

 技術相談
提供可能技術: 英語資格試験対策、英語プレゼンテーション指導

研究内容: 英語教授法、英語学習者の心理的側面が学習に与える影響

英語教授法(特に内容言語統合型学習[CLIL]やライティング指導)の実践とその効果の検証を、量的・質的に行います。最近の社会傾向として、英語を使用言語とする教育機関や企業が増加しつつあります。そういった環境では、英語は学習する対象でありながらも、学習・仕事をする上でのツールという側面を強く持つようになります。CLIL では、英語だけでなく、内容の学習にも主眼が置かれるため、より学習者がツールとしての英語をインプットしアウトプットする機会が増え、結果的に英語力の伸長に寄与すると考えられています。本研究では、そういった言語使用環境に着目し、その中での英語力の伸長の程度や、言語の壁を乗り越えるための戦略を検討します。

また、語学の学習において、学習成果には個人差が大きく関係してくることがわかっています。個人差を生み出す要素として、たとえば語学学習に対するモチベーション、学習の際に用いる戦略、外国語を話すときに不安になる気持ち、コミュニケーションを積極的にとろうとする態度、学習開始年齢などがあります。これらの要素が、学習者の語学力にどの程度関連してくるのかを研究のテーマとしています。

担当科目	英語総合 I、アカデミックライティング、コミュニケーション特論
------	---------------------------------

過去の実績	
-------	--

近年の業績 (研究・教育論文、特許含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・Noriko, S. (2021). Effects of content-based instruction (CBI) on EFL secondary school learners' writing: Linguistic and functional aspects. Journal of Immersion and Content-Based Language Education. https://doi.org/10.1075/jicb.20006.suz ・Suzuki, N. (2019). Needs analysis for developing a theme-based language unit for students at the National Institute of Technology. Bulletin of the Graduate School of Education of Waseda University. Separate Volume 26(2). 163-178. ・Suzuki, N. (2017). Foreign language speaking anxiety in the English-Medium Instruction (EMI) program in a Japanese university. CACELE Bulletin, 47. ・Suzuki, N. (2017). The Practice of In-class Writing Activities and Examination of the Writing Products in terms of Syntactic Complexity. The Council of College English Teachers Research Reports, 36. ・「Content Based Instruction (CBI)、Content and Language Integrated Learning (CLIL) の考えを工業高等専門学校低学年の授業に反映させる取り組み」『全国高等専門学校英語教育学会研究論集』第 35 号, 165-174. ・森和憲、鈴木章子、ジョンストン ロバート(2018)「機会翻訳機を利用して作成された自由英作文の分析」『全国高等専門学校英語教育学会研究論集』第 37 号, 31-39.
-------------------------	---